



## 2. 堰上下流水位の状況

### 1) 堰上流水位

最高時	T. P. +1. 39m (※)	12月 13日	11時18分頃
最低時	T. P. +0. 90m	12月 8日	9時07分頃

### 2) 堰下流水位

最高時	T. P. +1. 14m	12月 13日	17時17分頃
最低時	T. P. -1. 14m	12月 13日	24時00分頃

(※) 平常時の堰上流水位は、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で管理していますが、塩水浸入のおそれがあったため、標高T. P. +1. 3mを超えて管理しました。

## 3. 気象、水象状況

河口堰地点の気象、水象は次のとおりです。

日	天気	気温 (°C)	雨量 (mm)	風速 (m/s)	風向 (16方位)	忠節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	堰下流へ の流下量 (真水) (m <sup>3</sup> /s)	備 考
12月 7日	晴れ	7. 2	-	2. 7	N	20	45	12月の過去 10ヶ年日平 均流下量 (m <sup>3</sup> /s) 80
8日	晴れ時々曇り	12. 0	-	5. 5	NW	20	30	
9日	晴れ時々曇り	8. 9	-	2. 5	NW	20	20	
10日	晴れ時々曇り	6. 2	-	3. 0	NNE	20	20	
11日	晴れ一時曇り	7. 2	-	2. 1	N	20	20	
12日	晴れ時々曇り	10. 0	-	5. 1	NW	20	15	
13日	曇り時々晴れ	11. 3	-	3. 3	N	20	15	
合計			-					

※・気温は9時現在値です。

- ・雨量は当日0時から24時までの合計値です。  
(降雨量が1mm未満「0」、降雨がない日「-」)
- ・風速は当日0時から24時までの平均値です。
- ・風向(平均風向)は当日0時から24時までの最頻値です。
- ・忠節流量は9時現在値です。
- ・堰下流への流下量は当日0時から24時までの平均値です。
- ・忠節流量、堰下流への流下量の値は、100m<sup>3</sup>/s未満の場合には5m<sup>3</sup>/s刻み、100m<sup>3</sup>/s 以上の場合には有効数字2桁とした概略値です。  
なお、堰流下量については、堰上流水位を小潮・大潮の時期に応じて、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で変化させる操作により、日によって増減することがあります。

#### 4. 閘門の利用状況

閘門の利用状況については、次のとおりです。

月 日	12月 7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
操作回数	5	0	8	9	0	1	7
利用船舶数	7	0	12	14	0	1	8

#### 5. 水質等の状況

##### 1) 河口堰上下流の塩分濃度変化（速報値）

河口堰では堰の上流水域を淡水化し、新たな水利用及び既存用水の常時取水の安定化を可能としています。

その確認のため、塩分濃度の状況を塩化物イオン値（Cl<sup>-</sup>濃度）で常に監視しています。堰上下流の塩分濃度は、次のとおりです。

塩分濃度（塩化物イオン値：mg/ℓ）							
月 日 時刻	堰上流左岸250m地点			堰下流左岸250m地点			
	上 層	中 層	下 層	上 層	中 層	下 層	
12月 7日 9:00	14	13	12	12,000	17,000	17,000	
8日 9:00	14	13	12	12,000	17,000	17,000	
9日 9:00	14	13	12	13,000	17,000	18,000	
10日 9:00	14	13	12	14,000	17,000	17,000	
11日 9:00	12	13	12	13,000	16,000	17,000	
12日 9:00	12	13	12	14,000	16,000	16,000	
13日 9:00	12	14	13	14,000	16,000	16,000	

※・塩分濃度（NaCl, MgCl<sub>2</sub>, KCl等の混合時の濃度）とCl<sup>-</sup>濃度の関係は「塩分濃度=300+1.805×Cl<sup>-</sup>濃度」です。

- ・塩分濃度（塩化物イオン値）の基準は飲料水200mg/ℓ以下、工業用水20mg/ℓ以下です。

2) 堰上下流水域、揖斐川及び木曾川のシラベール（水質自動監視装置）のクロロフィルa（速報値）の状況は次のとおりです。

（単位：μg/L）

	堰下流水域			堰上流水域									堰流入地点			揖斐川			木曾川					
	揖斐長良大橋 3.0km			伊勢大橋 6.4km			長良川大橋 13.6km			東海大橋 22.6km			南濃大橋 28.4km			大藪大橋 31.2km			城南 -0.5km			弥富 8.7km		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
7日	60以上	3.5	-	一部欠測のため不明：A			10.8	5.3	8.4	3.2	1.8	2.4	2.8	2.1	2.5	3.6	2.6	2.9	3.5	0.5	2.0	一部欠測のため不明：A		
8日	一部欠測のため不明：A			42.5	32.9	37.1	10.6	6.4	8.4	3.2	1.8	2.4	2.9	2.3	2.5	一部欠測のため不明：A			一部欠測のため不明：A			30.5	5.7	10.6
9日	27.2	5.5	10.9	52.5	31.1	41.2	13.3	4.5	8.7	3.2	1.4	2.4	3.0	2.2	2.5	一部欠測のため不明：A			5.0	0.8	2.3	17.4	6.8	10.2
10日	23.6	3.1	8.6	56.2	35.2	44.4	20.8	8.2	13.6	3.5	1.7	2.5	3.1	2.3	2.6	一部欠測のため不明：A			4.3	0.6	1.9	17.4	5.8	10.2
11日	12.6	3.7	6.2	59.6	43.0	49.1	一部欠測のため不明：A			一部欠測のため不明：A			一部欠測のため不明：A			3.0	2.1	2.5	2.7	0.6	1.7	19.9	5.8	9.6
12日	13.9	3.5	6.0	60以上	41.9	-	23.0	13.0	19.2	3.4	1.3	2.2	3.4	2.0	2.3	3.3	2.3	2.5	3.4	0.7	1.8	13.7	5.2	8.6
13日	14.8	3.1	6.5	56.6	45.5	51.6	22.7	12.5	18.1	4.1	2.3	2.9	2.7	2.2	2.4	2.8	2.3	2.5	4.8	0.5	2.1	13.9	5.2	8.1

※ クロロフィルaの測定範囲の上限値は60μg/Lです。

※ 欠測理由 A：保守点検 B：出水 C：計測・電送不良等

クロロフィルa（chlorophyll a）は、植物の光合成において基本的な役割を果たしている葉緑素のひとつで、光合成細菌を除くすべての緑色植物に含まれているため、藻類の存在量の指標となります。従って、藻類の発生量が増加すると、クロロフィルaの値が増加します。

## 6. その他

### 1) ゲート保守点検

12月7日、8日、9日に扉体、戸当り、開閉装置の保守点検を行いました。

### 2) 主な水利用

#### ①長良導水（水道用水）

月 日	日平均取水量(m <sup>3</sup> /s)	備考
12月 7日	1.71 m <sup>3</sup> /s	
8日	1.74 m <sup>3</sup> /s	
9日	1.73 m <sup>3</sup> /s	
10日	1.79 m <sup>3</sup> /s	
11日	1.82 m <sup>3</sup> /s	
12日	1.77 m <sup>3</sup> /s	
13日	1.67 m <sup>3</sup> /s	
期間中の取水総量		約 106 万 m <sup>3</sup>
期間中の平均取水量		約 151 千 m <sup>3</sup> /日

※データの出典先

長良導水：水資源機構木曾川用水総合管理所

総量は、日平均取水量(m<sup>3</sup>/s)の合計に、86,400(=60秒×60分×24時間)を掛け、当該期間中の延べの使用水量に換算したもの。

②その他にも水利権量の範囲内で利用されました。

なお、10月11日～3月31日の長良川用水（羽島市、海津市へのかんがい）の水利権量は $0\text{m}^3/\text{s}$ です。

名 称	目 的	水利権量	供給先
福原用水	かんがい	$0.256\text{m}^3/\text{s}^*$	愛西市
中勢水道	水道用水	$0.732\text{m}^3/\text{s}^*$	津市、松阪市
北伊勢工業用水	工業用水	$2.951\text{m}^3/\text{s}^*$	桑名市、四日市市他
桑名市長島町	水道・かんがい・ 水路維持	$1.22\text{ m}^3/\text{s}^*$	桑名市長島町

※ 年間最大取水量